

秋の全国交通安全運動

9月21日～9月30日

高齢者の交通事故防止

彦根市内では、今年の1～6月の間に、428件の交通事故が発生しました。10時間に1件の割合で交通事故が発生していることとなります。65歳以上の高齢者では、昨年より、交通事故の発生件数・負傷者数が増加しています。

年をとるにつれて、視力などの身体機能は低下します。無理をせず、自分に合った行動を心がけましょう。自動車には、高齢者マークを貼り付け、速度を守り前方をよく見て、安全運転に努めましょう。

夕暮れ時と夜間の交通事故防止

夕暮れや夜間の交通事故件数が増加しています。自動車の下向きのライトでは、歩行者や自転車は30m以内まで近づかないと発見できません。夜間に徒歩や自転車で外出する

ときは、明るい色の服装をして、反射材を使うなど、目立つようにしましょう。

また、自動車を運転する人は、対向車や前走車がないときは、上向きライトで走行し、歩行者や自転車の早期発見に努めましょう。

シートベルト、チャイルドシートの正しい着用の徹底

自動車に乗ったらまずシートベルト。助手席同乗者だけでなく、後部座席同乗者にも着用してもらいましょう。また幼児や児童を乗車させる場合は、体格に合ったチャイルドシートを着用させましょう。

シートベルトは
正しく装着しましょう



歩行者・自転車利用者の交通事故防止

自動車を運転する人は、歩行者や自転車を見かけたら、徐行するなど安全と思いやりのある運転を心がけましょう。

歩行者や自転車利用者は、左右の安全を確認し、信号を守り、横断歩道や自転車横断帯を渡りましょう。

問い合わせ先 生活環境課 ☎22-1411内線134、FAX27-0395

平成16年1月～6月における彦根市の交通事故【()内は前年比】

	全件数	65歳以上の人が当事者	15:00～18:00における発生	自転車・歩行者が関係
発生件数	428(+50)	75(+5)	149(+32)	120(+9)